

# かえる

Vol.5  
特別号  
2022年

栃木 鹿沼 高校生の地域活動を伝えるフリーペーパー

栃木県鹿沼市には「自分をかえる、地域をかえる」を合言葉に活動している高校生たちがいます。活動する高校生たちは自分たちを「かえる組」と名乗ります。かえる新聞は、そんな高校生たちの地域活動や日常をまとめて、お伝えしていきます。きつとかえる組の姿が地域の未来の姿。どうぞ、お楽しみください。

ISSUE 今回の記事◎2代目かえる組/みんなで楽しい思い出/不安不安不安/自分達でやりきる楽しさ/活動を見守る地域の大人たち/組長たちの未来/変化と挑戦



やんぐ祭、達成後、頑張ってきたみんなで！

無料

TAKE FREE

## 未来へのエッセイ FOR FUTURE

### 組長たちの未来

※なみの未来

こんにちは！改めてまして組長の櫻村七海です。私は高校を卒業後、栃木県を離れて「国際的に活躍する看護師」を目指して大学に進学します！私自身、生まれた時から体が弱くお医者さんや看護師さんにもとてもお世話になりました。まだコミュニケーションが取れなかった私に寄り添い、看護をして下さったのに憧れたのが看護師になろうと思ったきっかけです。私もおそのように、言語の壁を越えてどんな症例でも、どんな患者さんでも救えるような看護師になりたいです。なつてみせです！看護の学習に取り組みむだけでなくボランティア活動にも力を入れています。こうも思っています！こまで全力で活動をしてきたのは栃木県を離れるということに少し寂しいですが、県外に出て改めて、栃木県の良さに気づけるのではないかと考えています！なので間接的にもかえる組に参加できればなうなんて思っています！鹿沼に戻ってきた時にはかえる組にお邪魔させていただきます、鹿沼の良さを永久的に届けていきます！

※もかの未来

皆さん、こんにちは！組長の高村もかです。私は高校を卒業後、医療事務として働きます。病院に訪れる際に患者様が抱える不安を和らげ、病院という場所に対するマイナスな印象を安心に変えたいと考えたことが医療事務を目指したきっかけです。私にはかえる組の活動で培ったコミュニケーション力という大きな強みがあります。地域の方にお話を伺ったり、メンバーと色々な意見を出し合ったり、イベントで挨拶をさせて頂いたりという大変貴重な経験の数々が、この力に繋がったと考えています。コミュニケーションには、会話だけでなく、目線や態度、言葉遣いも含まれます。医療事務として、患者様の不安を取り除く為にはコミュニケーションは必要不可欠です。かえる組で携えた自信を武器に、私なりの寄り添い方で患者様と向き合っています。

## ABOUT かえる舎のこと KAERU-SHA

### 変化と挑戦

新型コロナウイルスは、高校生たちの大切な思い出を奪ってしまいました。学園祭や、部活の大会、楽しいはずのお昼の時間までも。大人が思い出す高校時代とはまるっきり違います。今年度の3年生たちは入学式中中止や延期になった世代。悔しい思い出もたくさんしてきたんじゃないかな。でも、逆に多くの困難に立ち向かってきた1番勇敢な世代なんです。こんにちは。かえる舎の齋藤です。今年度を振り返ると、イベントもコロナ禍で実現できるかわからない。活動も短縮や中止。たくさんの不安がありました。それでも、勇敢な生徒たちが前向きに引っ張ってくれました。今の高校生たちは「変化に前向きに挑戦する意志」を持っているんだと教えてくれました。社会の変化は予測できません。次世代のみんなは変化を恐れるのではなく、自分はどうしたらいいか考え、動けるんです。そんなみんなが活躍できる未来にしていかなきゃ。大人も変わらなきゃ。



### 募券集

一緒に活動してみたい高校生は、Instagramのダイレクトメッセージに氏名、学校、応募動機を添えて連絡ください。



Instagram

特定非営利活動法人 かえる舎  
〒403-0009  
山梨県富士吉田市富士見1丁目1-5  
[http://kaerूसya.jp](http://kaerუსya.jp)



WEB

かえるメモ◎「卒業しても来るんで、何かある時は絶対言ってくださいね！」地域の未来がだんだん変わっていく。ワクワク。

